

特定非営利活動法人 日本免疫学会
平成 28 年度後期 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award
研究発表報告書

申請者氏名	中澤 優太	会員番号	0035113
申請者の 所属・職名	筑波大学大学院 人間総合科学研究科		
出席会議名	<u>Nature Conference: Immune profiling in health and disease</u>		
発表論文 タイトル	<u>Apoptotic epithelial cells control the abundance of regulatory T cells at barrier surfaces</u>		

実施結果:

この度は、Tadamitsu Kishimoto International Travel Award に選出して頂き、誠にありがとうございました。岸本忠三先生をはじめとします選考委員の先生方にこの場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

私は、10月3日から10月5日にかけて行われた「Immune profiling in health and disease 2016」に参加いたしました。本学会は、Immune profiling がテーマということもあって、幅広い分野からの講演がありました。そのプログラム構成は、1.vaccine design 2.Microbiome-host immune cell cross talk 3.Technological and computational advances 4. Immune profiling in cancer の4つに分かれており、普段はあまり聞くことないワクチンデザインやテクノロジーの講演を聞くことができました。特に4. Immune profiling in cancer のセッションやポスター発表では、CAR(chimeric antigen receptor)-T 細胞を用いた研究報告が数多くなされていました。

その中で、私は Apoptotic epithelial cells control the abundance of regulatory T cells at barrier surfaces のタイトルでポスター発表を行いました。本研究は既に Nature Immunology 誌に発表したものでありましたが、腸管での制御性T細胞の調整メカニズム、死細胞の生体での意義及び、今後実施したら面白そうな実験モデルなど様々なバックグラウンドを持つ研究者と議論ができました。その中で、新たに気づく点も多く、研究を発展させていく上で非常に有意義なものとなりました。

最後に、Tadamitsu Kishimoto International Travel Award のご支援により参加させて頂きました本学会で得られた経験を生かし、世界に通用する研究や、病気で苦しむ患者さんを救える治療法を開発できるような研究者を目指して、今後さらに邁進していきたいと考えております。